

No.	団体名	金額
提 案 の 概 要		
1	NPO法人スリーピース	248,850
<p>《市内幼保育園の園開放日情報冊子の制作と配布》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市内の幼稚園と保育園の園開放日を一冊にまとめた情報誌を作成し、これから入園を考えている保護者様の選択の一助となればと思います。 ・園開放日にお子様と直接各園に行かれることで、園の雰囲気や通園している園児の様子など、HPやパンフレットではわからないことがとても良くわかりますが、これまで一冊で幼稚園と保育園両方の情報を紹介しているものがありませんでした。 ・そこで、行ってみたい保護者と来てほしい園とを結ぶ開放日のわかる冊子を制作し、公共機関や子育て世代が訪れる施設・団体に配布し、広く必要とされる子育て世代に情報を提供していく仕組みを協働で実施したいと考えました。 		
2	NPO法人グリーンエネルギーしずおか	250,000
<p>《「つくろうECOエネ」地球と家庭にやさしい自然エネルギーを！》</p> <p>東日本大震災と福島原発事故は、安全、安心なエネルギーへの転換を強く求めるものとなりました。多様な自然エネルギーについて学び、普及啓発を強め、家庭や地域での導入を飛躍的に進めるために、子どもも大人も実験や体験を通じて自然エネルギーに触れ、大切さを実感してもらうイベントを計画し実施してきました。今年さらには充実させ、静岡市内いたるところで行い、静岡市民や子供達の省エネ、節エネ、創エネへの意識を高め、自然エネルギーへの関心を大きく高めたいと思います。</p> <p>特に次代を担う子供達の役割が大きく、子供達を中心にしながら父兄にも参加してもらい、楽しく、面白い、好奇心をくすぐる参加型イベントとして行います。</p> <p>自然エネルギーキットは8種類と「人間電池」キット、WWFの環境教育教材を活用、人間電池は100名規模のものにするなどより充実した内容にします。</p> <p>これまで3回行った結果、父兄と子どもの感想では、子供に触発され、家庭でのエネルギーの見直し、省エネ、節エネ、創エネが大事、自然エネルギー導入など行うという意見が出されており、初期の目的達成に確かな手ごたえを感じています。</p>		
3	NPO法人マンパワーカフェ	249,493
<p>《親子のものづくり体験教室》</p> <p>現状を取りまく地球環境に危機感を持ち、環境問題の改善に向けて子供達がより深い理解をすると共に環境に対する意識を高め、広めていくことが目的です。</p> <p>親子でものづくりを行い環境問題について楽しみながら学び、親子の絆を深める機会とします。</p> <p>日本国土の67%を占める森林の働きについて学び、竹細工や木工細工を創作し、それを使用して楽しむことをテーマにします。</p> <p>開催は事業期間に3回とし、子供達の夏休み、冬休み、春休みに各1回開催します。春、夏は竹細工（又は木工細工）、冬は門松づくりにします。</p> <p>開催頻度、開催場所等進め方については行政と確認しながらより良い方法にしていきたいと思っております。</p> <p>この企画が環境対策の一助となり地域活性化の起点の一つになれば幸いです。</p> <p>また出来る限り多くの子供達に参加してもらう為に参加費用の低減に向け体制作りをしていきたいと思っております。</p>		
4	特定非営利活動法人AYUドリーム	248,850
<p>《興津地区次世代につなぐ環境実践教育事業》</p> <p>地球温暖化、CO2排出量の抑制、もったいない運動等々環境問題は、地球単位で取り組むべき課題です。今私達が出来る事は、子ども達に自然の持つ恵み、神秘、脅威、人間社会が環境に与える影響など、次代を担う子ども達と共に考え、出来ることから生活の中で実践していくことが重要です。子ども達は、環境についてテレビ、学校、ゴミの分別収集、今回の原子力問題など一部の情報しか入っていません。</p> <p>そこで、本事業は、環境基礎講座からスタートし、環境指導員さん、専門家による「環境現場実践教育」と銘打ち、川・浜辺・海など実際に自然に触れあいながら、子ども達に伝わりやすい課外教育を中心に開催し、成果として「子ども環境報告書作成」と「子ども達による研究発表会」を開催することで、参加する子ども達に成果目標を意識させながら実践教育を行ってまいります。</p>		

No.	団体名	金額
提 案 の 概 要		
5	特定非営利活動法人静岡ヘリテージング	245,700
<p>《米作り農業から食の大切さを伝える》 耕作放棄される田が増加し、伝承される日本の文化や自然が減少しつつある。私達は、棚田を拠点として、昔ながらの米作りをする。子どもやその家族、農業に興味がある方に参加いただき、苗から米になるまでの過程を体験する。苗を手で植え、稲を鎌で刈り取り、昔の農機具を使って脱穀、モミガラを取る、昔ながらの農作業を行い、収穫した米を味わう。その体験から、労働の苦労と食物の貴重さを知る機会になり、同じ活動を通して、仲間と交流し人間関係の輪を広げていくことになる。これから社会人となる子ども達には、自然を身体で感じ、未来に伝えていく大切なことを学べる場になることを期待する。</p>		
6	静岡交流サポーターの会	300,000
<p>《静岡やまがの郷土料理の紹介と農業体験！！「健康食品のさつまいも掘りをして郷土料理を食べよう会」》 静岡市内の農業は市街化の進展により後継者不足が進み生産体制は僅かな中堅農業者と高齢者及び女性によりかろうじて維持されている。山間地農業はこの傾向がさらに高く多くの農業者は仕方なく農地を放棄または遊休地とし、生産農地を縮小している。 そこで各指導機関では消費地が近いと言う利便性を踏まえて農産物の販売形態を直売体制へと大きく傾けている。しかし生産体制は依然として変わらないのが現状である。 農業者と市街地の住民が密接に交流する場を作り農業に関心を持ち食の生産に積極的に関わる消費者の増加が双方のニーズを満たすものではないかと考えている。 このため、「教育は小さいうちに」の格言により小学生を対象に農業とのかかわりを深くして将来をゆだねるべく市の支援によりこの事業を実施したい。</p>		
7	パソコンわかばくらぶ	178,500
<p>《障害者を活用した学校ネットパトロール事業～就労移行支援プログラムとしての可能性を探る～》 本事業では、ITを利用して就労を目指す障害者に学校ネットパトロールという事業を通して、日常業務や社会参画への足がかりを掴んでもらう。学校ネットパトロールとは、掲示板への不適切な書き込みや個人情報流出などを巡視し、有害環境の問題を早期発見・早期対応で行おうという事業である。 情報通信技術の発達により子ども達を取りまく環境が変わって久しい。最近では非出会い系サイトでの犯罪が増加しており、未然の予防策として注目されているのが学校ネットパトロールである。一方の障害者を取り巻く環境も情報通信技術の登場によりITを活用した就労の可能性が期待されるようになった。しかしながら、実態は厳しい。 そこで本事業では「子どもを有害情報から守る」という課題と「障害者の自立支援」という2つの現代的な課題を組み合わせることで問題解決を試みる。</p>		
8	犬の会	249,150
<p>《警察犬と考えよう！犬のトラブル解決法》 人の心を癒し慰める存在であるペットとしての犬は、近年その飼育頭数が増加し続けています。そのような中、ペットとして飼育される犬に関する苦情（鳴き声、咬傷、糞尿の始末、宅配業者への威嚇など）が多数発生し問題化しています。また、近い将来発生が予想されている東海地震では、発生後の避難所でのペット飼育の問題なども懸念されています。 もともとは自分の飼い犬のしつけに困って訓練を始めた私たちが、今では警察犬を育成できるまでになりました。その技術・経験を生かして、訓練体験を交えた講習会を3回開催します。 その講習会を通じて、受講者の方たちに、飼い犬のことで迷惑をしている市民がいることを知っていただき、飼い主にできる解決策等を考えていくとともに、緊急時や災害時に困ることのない犬にする必要性も理解していただくことで、こうした社会的課題の解決を目指します。</p>		

No.	団体名	金額
提 案 の 概 要		
9	NPO法人しずおかNPO協働ネットワークセンター	248,430
<p>≪「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」≫ 「戦略的ファンドレイジング（資金調達・資金開拓）」の根幹は、行政、企業、市民の皆様方にNPO、市民活動を理解して頂くようコミュニケーションを積み重ね、お互いが成長するという、対話による「新しい公共」の実現だと思えます。即ち、「戦略的ファンドレイジング」は、「日本には寄付文化がない」などと諦めないで、NPO、市民活動の使命、目的、事業を理解して貰うことが、もし、お金が集まらなくても社会を変革する大切な方法です。 本提案は「戦略的ファンドレイジング」の基本的考え、概念を体得することを目標にしています。</p>		
10	NPO POPOLO	249,360
<p>≪生活困窮者のためのフードバンク事業≫ 増え続ける生活保護世帯。単身世帯高齢者18,892世帯、ひとり親と子の世帯7,584世帯（H17国勢調査）、静岡市に生活をする路上生活者56人（厚生労働省ホームレス実態調査H21年調べ）の中に隠れている、生活保護水準すれすれの生活を余儀なくされている方を対象に、製造、輸入、卸売の食品業者や、スーパーや販売小売店、農協や農家、静岡市民などから安全に食べられる食品を寄贈として受け、個人情報もNPO POPOLOでは知ることが難しいため、地域の状況を把握している民生委員や町内会長などの自治会や行政と連携し、食料支給を求める世帯や福祉施設に集まった食料を提供する。その結果、食のセーフティーネットの構築、生活保護世帯増加の防止、生活保護費抑制、地域のコミュニティ再生による地域での孤立化の防止を図ることを目的とした事業である。</p>		
11	静岡日タイ協会	250,000
<p>≪第2回日タイ交流フェスティバルinふじのくに静岡 ～外国語がしゃべれなくても～ タイ国・国技『セパタクローで国際交流しちゃおう』≫ <背景>静岡日タイ協会は、2007年9月に創設されて4年の歳月が経ちました。日タイ友好親善を目的に様々な活動をし、少しずつ認知され、また期待もされています。 さて、徳川の時代に駿府（静岡市）は、10万人を越す世界でも有数な国際都市でした。とかく国際化といわれる現代、アジア（タイ王国）と日本（静岡）の交流を通じ相互理解を更に深めたいと思っています。 タイ王国（シャム）では、アユタヤ王朝時代に日本人町で大活躍した静岡市出身の山田長政が、歴史上最も古くから知られている日本人で、1612頃（400年前）駿府を出発しシャムに渡海したと云われている。 また、タイ人監督製作の長政の映画「ヤマダーアユタヤの侍」は、2010年12月2日からいよいよタイ国で上演されました。そして、2010年のゴールデンウィークには富士山静岡空港からタイ国へ初めてチャーター便が就航され、今後の両国の関係に益々関心が高まって来ました。 <趣旨>アジアの時代だと言われて久しい。しかし、日本は先進国だという優越意識などが、物事の本質を見失っている場合がある。また、本当の豊かさとは何かを考えるきっかけになれば幸いです。タイ国との文化交流などを通じ、より友好親善に努め国際的視野を持った地域人材の育成を図り両国の一層の発展を目指す。 （両国民参加型・情報発信としての交流事業）</p>		